

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	26	学校名	王寺工業高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 王寺町美化清掃活動 (2) 交通安全標識の作製
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 地域と連携した取り組みを行うことで、奉仕の精神を養う。 (2) 地域の中学生と協働作業を行い、交通安全の意識を高め、地域との絆を深める。
連携・協働相手	(1) 王寺町役場住民課、王寺町自治会 (2) 王寺町危機管理室、王寺北義務教育学校
地域と共有している目標・課題等	(1) 地域環境の向上と町民の健康と快適な生活の確保に寄与する。 (2) 地域の交通安全事業に参加することで、交通事故防止といった地域安全に貢献する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
(1) 奉仕の精神を養うことを目的とした地域貢献活動として葛下川周辺や通学路・周辺地域の清掃活動を行った。生徒へ参加の呼びかけを増やすことで、参加者も増え、地域の活性化に貢献していると感じる取組となった。 (2) 児童生徒の飛び出し事故の防止に貢献するために標識を協働で作製し、事故の多い地域に標識を配置した。	

2. 事業の成果と課題

(1) 清掃活動を通して、地域に貢献できる場面が増えたことで、学ぶことがあったと思う。学習活動や部活動、学校行事などとの調整があり、多くの生徒が参加できるように計画を立てることが課題ではある。それぞれの機会を大切にして、「量より質」の考え方で、生徒一人一人が地域の活性化に貢献していると感じるような取組としたい。
(2) 「交通安全標識」の作製では、通学路の飛び出し事故の起こりやすい地域に標識を配置することで、交通安全に意識向上に役立ち、王寺北義務教育学校との連携で「地域貢献」が出来ているという自己肯定感につながった。これまでの取組を大切にした上で、地域の期待・要請に応えることを図りたい。取組が昨年度同様、継続的に行うことが出来たことが良かった。

